

北野議員「名古屋市は待機児童ゼロにしました。

ならば河村市長、**待機老人もゼロにする**べきでしょう！」

名古屋で高齢者の介護難民は出さない方策を！

北野議員

「市内の特養ホームへの入居を待つ希望者は6,200人！
要介護度3~5の高齢者は毎年600人ずつ増加している。
永年、介護保険料を納めてきていざ、入居が3年待ちでは、
あまりに理不尽です！しっかりと高齢者対策をとるべきです！
現在、厚労省はプライバシーの観点から個室の整備を推奨し
本市の条例でも新規整備の居室の定員は1人としている。



北野議員「9月に条例改正して**方針の転換**を！」

河村市長「では、9月に条例改正やります。」→

27.6.27 読売新聞

特養の多床室認可方針

名古屋市、9月にも改正案

26日に開かれた名古屋市議会本会議で、河村たかし市長は個室に限定してきた特別養護老人ホーム(特養)の開設について、複数の入居者が寝起きする「多床室」の整備も認める方針を明らかにした。北野由晴市議員の個人質問に答えた。

市によると、特養を開設する事業者には、これまでの国の指針に基づき、入居者がプライバシーを確保できる個室を確保する「ユニット型個室」に限って認可する方針を明らかにした。しかし、低所得者には費用負担が大きいという。

今後、一定のプライバシーを確保した多床室の在り方を認め、早ければ9月の定例会に關係条例の改正案を提出したい考え。